

UMIN センター 35 周年記念に寄せて

UMIN 担当システムエンジニア
株式会社日立製作所

田苗 州一

この度、UMIN センターが設立 35 周年を迎えるとのこと、おめでとうございます。その一助となれましたことを光栄に思います。

私は 2010 年に着任いたしましたので、15 年近く在籍させていただいていることとなります。業務としては、ソフトウェアの開発・運用、利用状況に合わせた Web・DB サーバ等の管理と、ソフトウェアからインフラまで幅広く担当させていただきました。この 15 年でソフトウェア、インフラともに大きく変化がありました。サーバについては従来の物理サーバに加え、仮想サーバの管理についても担当させていただいております。

私が主に担当したシステムは、利用者管理システム、EPOC2 (PG-EPOC、CC-EPOC)、DEBUT2 等になります。利用者管理システムは機能追加が主でしたが、EPOC2、DEBUT2 につきましては、要件定義段階より携わらせていただきました。EPOC2、DEBUT2 とありますように、前任 SE が構築した医師・歯科医師研修システム EPOC、DEBUT の後継システムでございます。旧システムは PC での入力操作を行っておりましたが、EPOC2 ではモバイル端末の個人所有が増加してきていましたので、モバイル端末での入力操作が行えるよう設計・開発を行いました。また、旧 EPOC システムでいただいていた要望についても反映いたしました。

EPOC2 は設計当初は旧 EPOC と同じく初期臨床研修の評価入力を目的として開発しておりました。EPOC2 の運用開始後、卒前実習でも評価入力に用いたいとのお話をいただき、卒前実習用に改修した CC-EPOC の運用を開始しました。それに合わせ、初期臨床研修用機能を PG-EPOC と名称変更しました。また、実習生／研修医自身が提供設定を行うことで、初期臨床研修プログラム側で卒前実習修了時点での評価を参照することができるようになりました。これにより、卒前実習(CC-EPOC) ⇒初期臨床研修 (PG-EPOC) の流れで実習生／研修医の評価データの登録を行えるようになりました。現状では研修医の 9 割が PG-EPOC を使用しているとのことです。

歯科領域では、PG-EPOC をベースに、歯科初期研修用に評価項目を変更した DEBUT2 も開発させていただきました。

EPOC2 系システムでは各種評価票の入力機能だけではなく、登録されたデータを匿名化し、研究者に御依頼いただいた形式で提供するプログラムも開発いたしました。システムについてさまざまな御要望をいただき、随時対応を行わせていただいておりますが、今後より良いシステムを提供できるように改善していきたいと考えております。

近年、フロントエンド、バックエンドともに技術の進化・分化が激しく、情報があっと

いう間に古くなっていることでもあります。新しい技術をキャッチアップ・検証することは大変ではございますが、新たな知見を得られるのは楽しくもありますので、エンジニアとしては幸せであると感じています。得られた知見で UMIN サービスの利便性向上が図れそうな技術については、引き続き、フィードバックさせていただきたいと思います。

今後どのように技術が進化するかはわかりません。利用者の使用端末の主流が PC からモバイル端末へ移行したように、新しいモノがあらわれることも考えられます。今後も技術の動向に注目し、UMIN のサービス向上に努めたいと考えております。